

高等学校 商業

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

1 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の広告に関する文章を読み、下のア～エの問いに答えよ。

現代の消費者は、情報にもとづいて商品を購入することが多い。そのため、企業は、より多くの消費者に、自社の商品や活動について正確で印象深い情報を提供する必要がある。その意味ではマスメディアを利用して広告を行えば、広い地域の多数の消費者に効率よく情報を提供することができ、とても有効である。

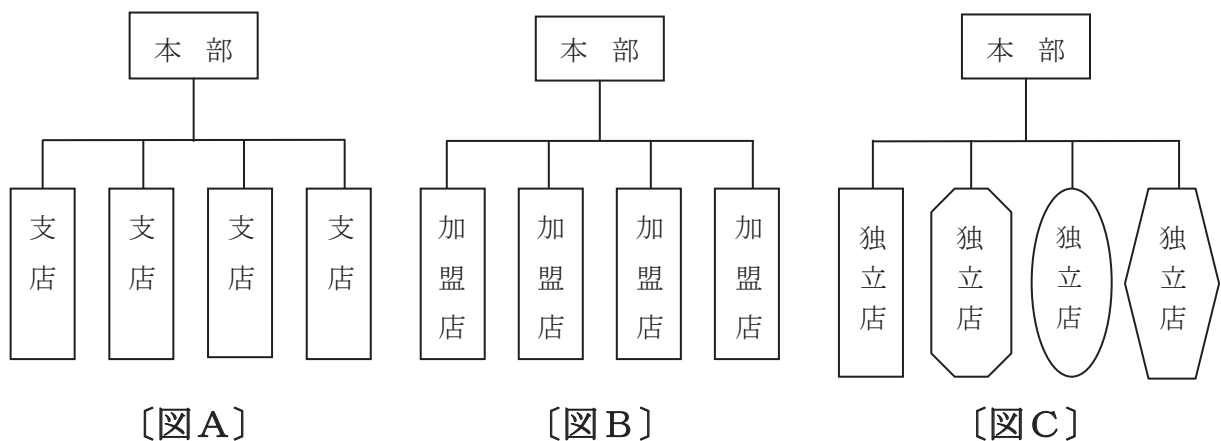
ア 下線について、マスコミ4媒体とは何か答えよ。

イ 広告目標や訴求対象を考慮しながら、特性と費用を比較・検討して、全体の広告効果が最も大きくなるように媒体を組み合わせることを何というか答えよ。

ウ 企業が新たな技術や製品などを開発した場合に、マスメディアがその情報を報道や記事として取り上げることを何というか答えよ。

エ 企業が利益還元の一環として、学問や芸術を積極的に擁護しようとする活動を何というか答えよ。

(2) 次の小売業者のチェーン組織に関する図及び文章を読み、下のア～ウの問いに答えよ。



ア 図Aはコーポレートチェーンの形態を表している。一定期間に必要な商品や、会社全体で必要な商品をまとめて仕入れる一括仕入れの方法をとっている。一括仕入れのメリットおよびデメリットについて、それぞれ1つ答えよ。

- イ 図Bはフランチャイズチェーンの形態を表している。コンビニエンスストアの多くはこの形態である。各加盟店、本部、配送センター、仕入れ先などがネットワーク化されているため、在庫管理・注文処理・配送指令の機能を本部に集中させることにより、商品を少量多頻度で補充できる。商品を販売した時点で品目別の販売情報を処理・加工するシステムをアルファベット3文字で答えよ。
- ウ 図Cの形態は、コーポレートチェーンと同様の利点を取り入れるために、独立した多数の小売業者が企業としての独立性を保ちつつ協力して組織したものであるが、この形態を何とよいか答えよ。

2 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の文章を読み、下のア～ウの問いに答えよ。

私たちが送る日常生活では、食料品を買ったり、マンションを借りたりするなど、いろいろな場面で、契約が結ばれている。契約というのは、当事者の合意によって一定の取引をすることである。契約を結ぶには、当事者の間で、それぞれの意思が、正しく伝えられる必要がある。

売買などの法律上の効果を発生させたいという意思を他人に伝える行為を意思表示という。契約は、当事者の一方からする「申し込み」の意思表示と、これに対する（ ）の意思表示が合致することで成立する。契約が成立すれば、両当事者の意思表示に対して、その求める通りの法律上の効果が与えられることになる。

ア 文章の（ ）に入る適当な語句を答えよ。

イ 私たちは、契約の内容などを自分の意思で自由に決めることができるのが原則である。これを契約自由の原則といい、近代社会における法の基本原則の一つとなっている。この原則には4つの自由があるが「契約内容を決定する自由」以外の3つの自由についてそれぞれ答えよ。

ウ 電気・ガスの供給、運送、保険、預金などの契約では、大量に取引がなされ、画一的かつ迅速な処理が要求される。そこで、当事者があらかじめ決めておいた典型的な契約内容(約款)に従って、契約が結ばれる。このような約款にもとづいて結ばれる契約を何というか、漢字で答えよ。

(2) 次の文章を読み、下のア～ウの問いに答えよ。

労務に関しては民法上（ a ）・（ b ）・委任の三つの類型がある。

労働者が使用者の指図に従って働くことを約束し、使用者がそれに対して賃金を支払うことを約束する契約を（ a ）という。当事者の一方が一定の仕事を完成させることを約束し、注文者がそれに対して報酬を支払うことを約束する契約を（ b ）という。

民法の特別法として制定されている労働関係法（労働法）のうち、①労働三法とよばれる法律が制定されている。また、労働者には②労働三権が憲法28条により保障されている。

ア 文章の（ a ）・（ b ）に入る適当な語句を答えよ。

イ 下線①について、労働三法とは何か、漢字で答えよ。また、この労働三法が制定されている理由を、120文字以内で述べよ。

ウ 下線②について、労働三権とは何か、漢字で答えよ。

3 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次のア～ウの取引の仕訳を示せ。

ア 工程別総合原価計算を採用しているA工業株式会社は、倉庫に保管してあった第1工程の完成品¥1,170,000を第2工程に引き渡した。

イ 個別原価計算を採用しているB製作所は、発生した作業くずを売却し、代金¥37,000は現金で受け取った。

ウ 等級別総合原価計算を採用しているC製作所は、次のとおり当月の売上製品原価を計上した。

1 級製品 ¥2,370,000 2 級製品 ¥1,860,000

(2) 単純総合原価計算を採用しているD製作所の5月分の製造に関する資料は、次の通りであった。

単純総合原価計算表を完成し、①から④を答えよ。

ただし、i 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。

ii 月末仕掛品の評価は平均法による。

資 料

i 当月製造費用

素 材 費	¥ 560,000	工 場 消 耗 品 費	¥ 100,000
労 務 費	¥ 920,000	経 費	¥ 480,000

ii 月初仕掛品原価

素 材 費	¥ 160,000	加 工 費	¥ 500,000
-------	-----------	-------	-----------

iii 月 末 仕 掛 品 数 量 400 個 (仕上がり程度50%)

iv 当 月 完 成 品 数 量 800 個

単純総合原価計算表

平成 27 年 5 月分

(単位：円)

摘 要	素 材 費	加 工 費	合 計
当 月 製 造 費 用			
材 料 費			
労 務 費			
経 費			
計		(①)	
月 初 仕 掛 品 原 価			
計	(②)		
月 末 仕 掛 品 原 価		(③)	
完 成 品 原 価			
完 成 品 数 量	800 個	800 個	800 個
製 品 単 価			(④)

4 次の（１）～（７）の取引の仕訳を示せ。ただし、商品に関する勘定は３分法によること。

- （１）Ａ商店から、月末到着の予定で商品¥158,000を仕入れ、船荷証券を受け取り、代金は掛けとした。
- （２）Ｂ商店はＣ商店へ委託販売のため商品（仕入原価¥400,000 売価¥700,000）を発送した。なお、その際に運賃などの諸掛¥25,000を現金で支払った。
- （３）商品¥600,000（原価¥560,000）をＤ商店に売り渡し、頭金¥100,000は同店振り出しの小切手で受け取り、残額は10か月の分割払いで受け取ることにした。なお、割賦販売収益は回収基準によって計上する。（対照勘定を用いること）
- （４）決算に際し、法人税¥3,500,000と住民税¥560,000を計上するとともに、その金額から中間納付額¥1,600,000を控除した差額を未払分として計上した。なお、中間納付額は仮払法人税等勘定で処理されている。
- （５）Ｅ商店は、Ｆ商店に商品¥980,000を売り渡し、自己を受取人とする為替手形¥980,000を振り出し、同店の引き受けを得た。
- （６）Ｇ商店はＨ商店の借入金¥1,500,000について、同店からの債務保証の依頼があり、これを承諾した。（対照勘定を用いること）
- （７）Ｉ商店はＪ商店に対する買掛金¥500,000を所定の期日前に小切手を振り出して支払った。なお、Ｉ商店は、この買掛金について３％の割引きを受けた。

- 5 次の精算表の（ ）内に適切な科目または金額を記入して精算表を完成させ、（ア）～（コ）にあてはまる金額を示せ。

精算表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	16,000						16,000	
当座預金	476,000						476,000	
売掛金	130,000						130,000	
貸付金	85,000						85,000	
売買目的有価証券	(ア)			(イ)			40,400	
繰越商品	142,500		(ウ)	142,500				
				5,000			(イ)	
備品	74,000						(ウ)	
買掛金		152,500						152,500
貸倒引当金		(エ)		(エ)				4,300
減価償却累計額		(カ)		(カ)				9,750
資本		450,000						450,000
利益金準備金		70,000						70,000
任意積立金		232,000						232,000
繰越利益剰余金		16,000						16,000
売上		840,000				(オ)		
受取手数料		32,000	5,000			(オ)		
仕入	640,000		(カ)	140,000	(オ)			
給料	154,000				154,000			
地代家賃	(イ)		(イ)		21,500			
保険料	18,000			(イ)	(イ)			
	(イ)	(カ)						
貸倒損失			(イ)		1,300			
有価証券評価損			(イ)		4,600			
棚卸減耗費			2,000		(イ)			
商品評価損			3,000		(イ)			
減価償却費			(イ)		5,250			
(イ)手数料				5,000				(イ)
(イ)地代家賃				2,000				(イ)
(イ)保険料			5,000				(イ)	
受取利息				1,200		1,200		
(イ)利息			(イ)				(イ)	
(イ)					(キ)			(イ)
			(ク)	(イ)	(ケ)	(イ)	(コ)	(イ)

- 6 次の（１）～（３）の問いに答えよ。

- （１）第１図のようなアンケートの回答データを読み、処理条件にしたがって第２図のように印字する場合、第５図の流れ図のア～ウを記入し、流れ図を完成させよ。

入力形式

質問１	質問２	質問３
(K A I (１))	(K A I (２))	(K A I (３))
x	x	x

（第１図）

出力形式（アンケート集計一覧表）

（回答番号）	（質問 1）	（質問 2）	（質問 3）	（合計）
（BAN）	（M（1））	（M（2））	（M（3））	（M（4））
X	XX	XX	XX	XX
X	XX	XX	XX	XX
X	XX	XX	XX	XX
}	}	}	}	}
X	XX	XX	XX	XX

（第 2 図）

処理条件

- 1 質問は、質問 1 から質問 3 まであり、回答の種類は 1 から 4 までの番号が付けられている。
- 2 アンケートの回答数を下図のようなテーブル S Y U—T に集計する。
- 3 回答番号ごとに回答者合計を求め、アンケート集計一覧表を印字する。
- 4 入力形式で読んだ質問 1 から質問 3 までのデータは、そのまま入力テーブルの K A I（1）から K A I（3）に保存されるものとする。
- 5 アンケートのデータ数は、50件であるものとする。

テーブル（S Y U—T）

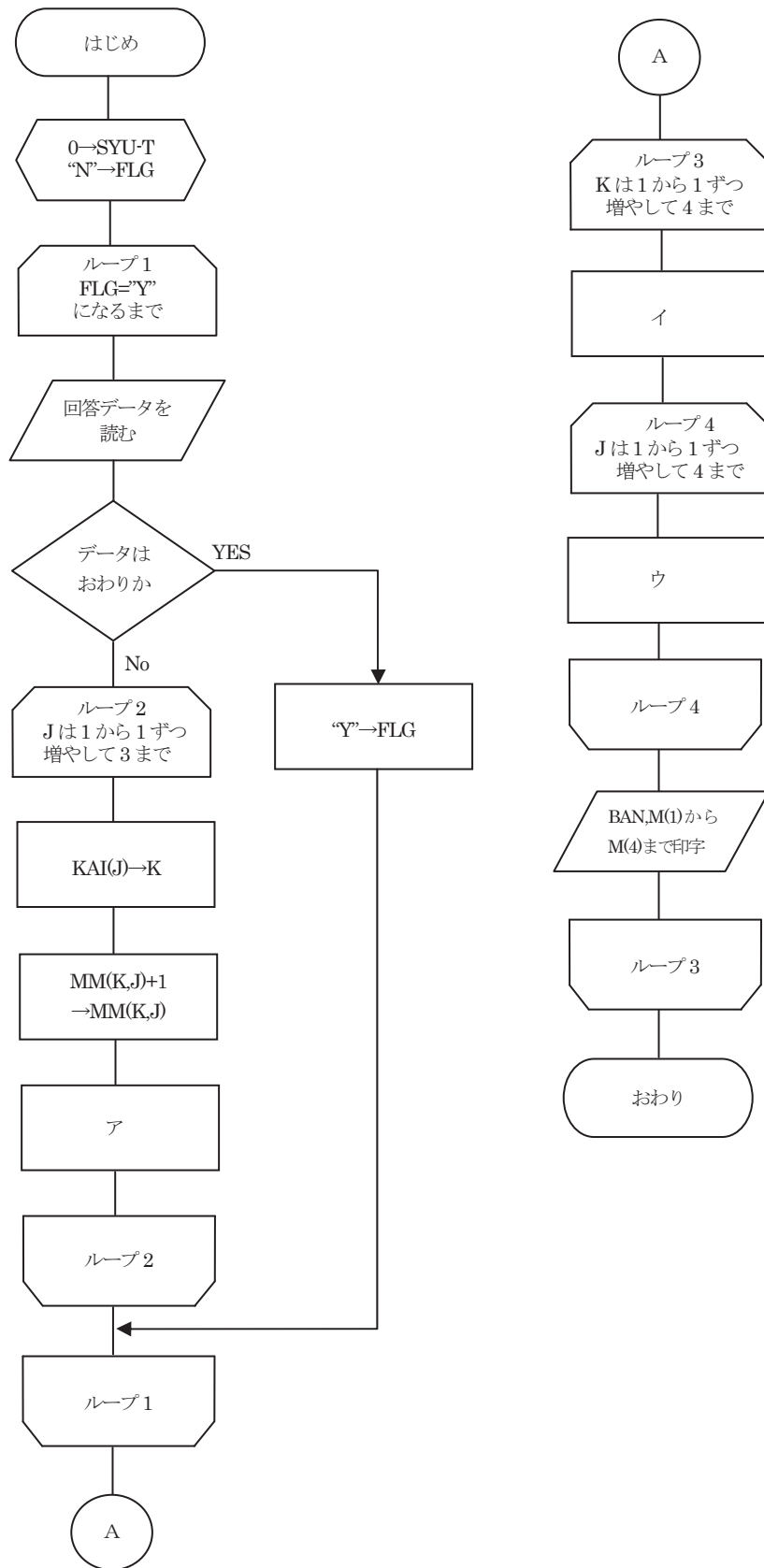
MM	質問 1	質問 2	質問 3	合計
	（1）	（2）	（3）	（4）
回（1）				
答（2）				
番（3）				
号（4）				

（第 3 図）

出力形式

BAN	M（1）	M（2）	M（3）	M（4）
x	x x	x x	x x	x x

（第 4 図）



(第5図)

(2) 次のエ～カの各文の () にあてはまる値を示せ。

エ 100ms は (エ) 秒である。

オ 2進数 01011100 の 2 に対する補数は (オ) となる。

カ 総シリンダ数：1,000 トラック数/シリンダ：30 セクタ数/トラック：150 セクタ長：
5 K B のハードディスクの記憶容量は (カ) MB である。
ただし、1 K B = 1000 B とする。

(3) 次のキ～コの通信文に関して適切な語句を漢字で答えなさい。

キ 拝復（頭語）に対する結語を答えなさい。

ク 草々（結語）に対する頭語を答えなさい。

ケ 官公庁・会社・学校など団体に通信文書を出す場合の敬称を答えなさい。

コ 通信文の受発信について、手紙を名宛人自身が開封するよう指示をする適切な語句を答えなさい。

【 計算用紙 】

(必要に応じて使用すること)

【 計算用紙 】

(必要に応じて使用すること)

【 計算用紙 】

(必要に応じて使用すること)